

6 本時案

① 主眼

絵巻に描いて表したい「扇的」のイメージを考える場面で、心情や情景の描写をもとに意見交換し、場面のイメージを表す絵を班ごとに考えることを通して、扇が射抜かれる美しい情景や、平家の男が射られる様子を見た武士の非情さと情け深さという両面の心情をイメージすることができる。

② 本時の評価規準

扇が射抜かれる美しい情景や、平家の男が射られる様子を見た武士の非情さと情け深さという両面の心情をイメージしている。

③ 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応（太字はキーワード）	◇教師の指導・援助	時間	備考
導入	1 本時の見通しをもつ。	学習問題：絵巻に描いて表したい「扇的」のイメージは何だろうか。 ア 情景や心情の描写からイメージを考えた。 イ 私は第2場面の「扇は空へぞ上がりける」と「夕日のかかやいたるに」の描写から、扇が夕日に反射して輝く華々しいイメージを考えた。でも友は同じ段落でも違うイメージだった。友の考えを聞きたい。	◇前時個人で考えた第2場面と第3場面のイメージを共有する場を設ける。 ◇同じ場面から違うイメージを抱いている友がいることに気付いたイのような発言から学習課題を設定する。	10分	前時のワークシートフラッシュカード 書画カメラパソコン HDMI
	2 グループ追究する。	ウ 射抜かれた扇の華々しいイメージは、「夕日」、「みな紅」、「金」などの色で表わされている。明るい色で描きたい。 エ Aさんは、「春風に一もみ二もみもまれて」という描写から、扇がゆっくりと舞う様子に注目し、扇が空に舞っているイメージをもっていた。春風に舞う様子を明るい色と組み合わせながら描きたい。 オ Bくんは、「沖には平家～」という描写からも華やかさを読み取っていた。自然だけでなく、人も華やかな情景につながるのだ。 カ Cさんは、「夕日のかかやいたるに」の描写から与一が射切った喜びもあると言っていた。 情景だけでなく、心情もこの場面で表せるのだ。 キ 扇や海の情景の美しさだけではなく、扇を射たときの与一や武士たちの喜びも表したい。遠くに与一も入れて描くと、その情景と気持ちが表せそうだ。	◇同じ場面を選んだ生徒同士で4人程度のグループを形成し、それぞれのイメージを持ち寄りながら、本文の描写をもとにグループとしての絵に描きたいイメージを決め出すよう促す。 ◇前時に個人で追究したことを基に、着目した描写の工夫と、表現したい情景や心情、朗読をする上での工夫についてグループで意見交換するように促す。	20分	ワークシート
展開	3 全体追究し、グループの考えを見返す。	評価基準に達しない生徒への手立て ・グループ内の交流の中で同じ部分、違う部分に着目し、違う部分どうしを掛け合わせることを考えるよう促す。	◇意見交換する中で、参考になる友の考えや、決まった絵の工夫については、ワークシートへ書き込んでいくように促す。 ◇グループでまとめたイメージを全体で交流し、グループの絵を見返す場	15分	書画カメラ
	4 本時を振り返る。	ク 場面のイメージをグループで固めることができたので、次回は絵巻を作っていきたい。	◇本時の振り返りをワークシートに記入し、発表する場を設定する。	5分	